

こじかレポート [こじかを意識した授業を作るために]

保健体育科

記入者：清水貴幸

①こじかーどの活用方法

●保健の授業で、事前に各単元のキーワードを各クラスの生徒に振り分けて、授業の最後にミニ授業の時間を取り、その担当のキーワードについて「こ・じ・か」を意識して発表している。また、ノートに自分の考えを書くときも「こ・じ・か」を意識して書く。

②1単元を選び計画または実施内容

◎周りの人とノートを交換して、他の人の意見を知る機会を設ける。その時に「こじか」を意識してノートを書くように声かけを行う。

3-6 自然災害による傷害の防止

自然災害への備えと傷害の防止について理解することができるようとする。

1. 大地震が発生する前の備えについて考える。
2. 様々なケースにおける地震（サザエさん一家を救え）を行い、自分のノートと他の生徒の記入した生徒を比較検討し、自分のノートを完成させる。
3. 学習したことを参考に、再度、大地震が起こる前の備えを考える。
4. ミニ授業キーワード 【自助】

3-5 自然災害による危険

自然災害による傷害には、一次災害と二次災害による傷害がある事について理解する。

また、嘉楽中学校の校区である、上京区のハザードマップから危険を予測する。

1. どんな種類の自然災害、があるのかをノートに書き出してみる。
2. 上京区のハザードマップより、グループで広域避難場所がどこであるか調べる。また予想される危険を読み取る。
3. 本時のまとめをノートに記入する。
4. ミニ授業キーワード 【一次災害】【二次災害】

3-7 共に生きる

東日本大震災で起きた話を聞き、学習した「自然災害による傷害の防止」と「自然災害による危険」を活かして、中学生の自分たちにできることを考える。

1. 大きな地震が起きると私たちの生活にどんな変化が起こるか考え発表する。
2. 大地震がおきて、嘉楽中学校が避難所になった場合、どんなことが必要か考える。
3. 中学生の自分たちにできることが何か、グループで話し合い、発表する。
4. ミニ授業キーワード 【共助】【公助】

②の実施内容で生徒に実現させたい姿（こじかに関わる内容として）

- ・自分の考え方や調べたことを他人に分かりやすく伝えられる力
- ・自分の考え方や意見をノートに丁寧に書く力
- ・他人の意見を見て、理解したことを自分なりに解釈して話したり、書いたりする力